

～ 第47回 ～

# 景気動向調査結果

－ 令和 5年 1月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和4年10月～令和4年12月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしておりますが、令和4年10月分は99社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

# 令和5年1月分(令和4年10~12月対象)の景気動向

## 1 総論

売上については、全体では前回調査時との比較で3.1ポイントマイナスの微減となりましたが、業種・業態によりコロナの影響や物価高による減少、国の支援策等により増加と、様々な状況が見られました。今後の見込みでは、コロナの影響による予約キャンセルや物価高による買い控え、市場規模の縮小による受注減等の影響が挙げられ、今回より16ポイントの減少が予想されています。

コストについては、原材料・その他経費(エネルギーコスト等含む)は依然として上昇回答が多い状況が続いており、長期的な影響が見られます。

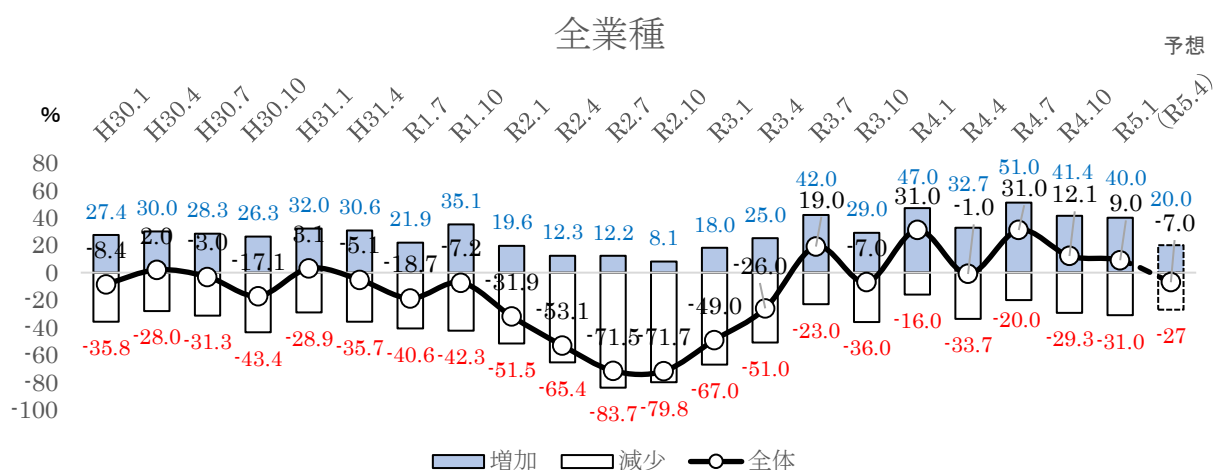
経営上の課題については、「原材料・仕入高」が69件と影響が継続している状況です。次いで「諸経費増加」が44件と前回より増加し、原材料に限らず多くのものが高騰している状況が窺えました。

2023年の見通しについては、「現状とあまり変わらない」が半数を超える56件となり、好転が見込まれるは22件・悪化するは18件となりました。

新たに取り組みたい事項については、「商品・サービス開発」が最多の31件、「生産性向上」「設備投資」が共に24件挙げられました。また、今年の10月からスタートする「インボイス制度・電帳法の対応」についても30件と多くの回答がありました。

上記の取り組みにおける課題や障害については、「人材不足」が最多で30件、次いで「技術・ノウハウの不足」「資金調達」が共に22件となりました。

## 2 売上高・受注高 ー前年同期との比較、今後3か月の予想ー



売上の業種別状況としては、卸・小売、製造、サービス業で増加、建設、宿泊飲食業で減少という結果になりました。その中で製造業では、水引・食品が共に20ポイント増加となりましたが、精密関係等では設計変更による製造停止や半導体不足による生産調整等により減少している結果となりました。また宿泊飲食業においては、宿泊関係は旅行支援での増加が見られましたが、飲食ではコロナ第8波の影響により忘年会等の開催も減少し、25ポイントの

マイナスとなりました。

今後の見込みでは、建設業を除く 4 業種においてマイナス見込みとなり、コロナの感染状況により先が読めない、原材料不足による生産調整の影響が要因として挙げられました。

(主なコメント)

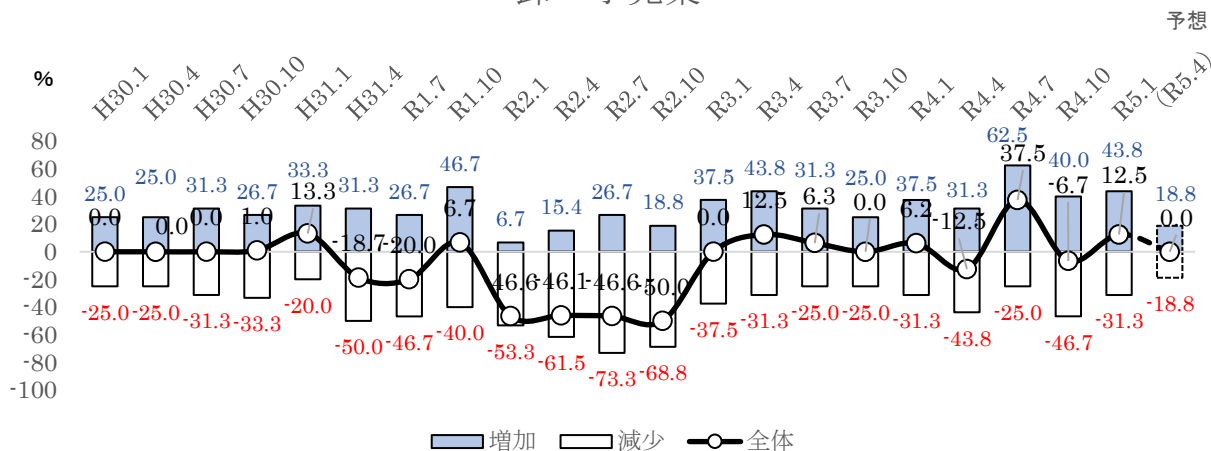
◆増加・減少要因

- ・コロナ禍が落ち着いてきて、お客が行動してきているー卸・小売
- ・結婚式の増加で金封等が 10~20%増加したー製造 (水引関連)
- ・年末の客数減ー宿泊・飲食
- ・行動制限の緩和や旅行支援などの施策により、個人消費 (帰省や旅行) は増加したが、貸切や団体は動きがないーサービス

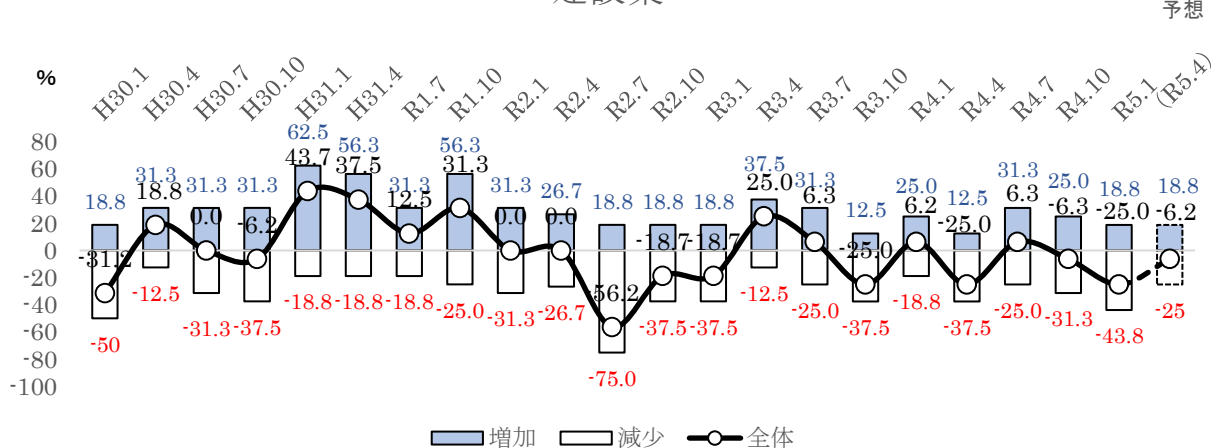
◆今後 3 ヶ月予想

- ・先が読めないー卸・小売
- ・好転する期待はあるが、変わらない予想もできるー建設
- ・半導体不足の影響が続くー製造
- ・感染者の増加により来客は少ない、新年会の予約もないー宿泊・飲食
- ・今のところ予約が入っておらず悪化すると思われる。去年は近くの学校が修学旅行として利用してくれたが、今年は規制緩和されているので、そういった行事もなしーサービス

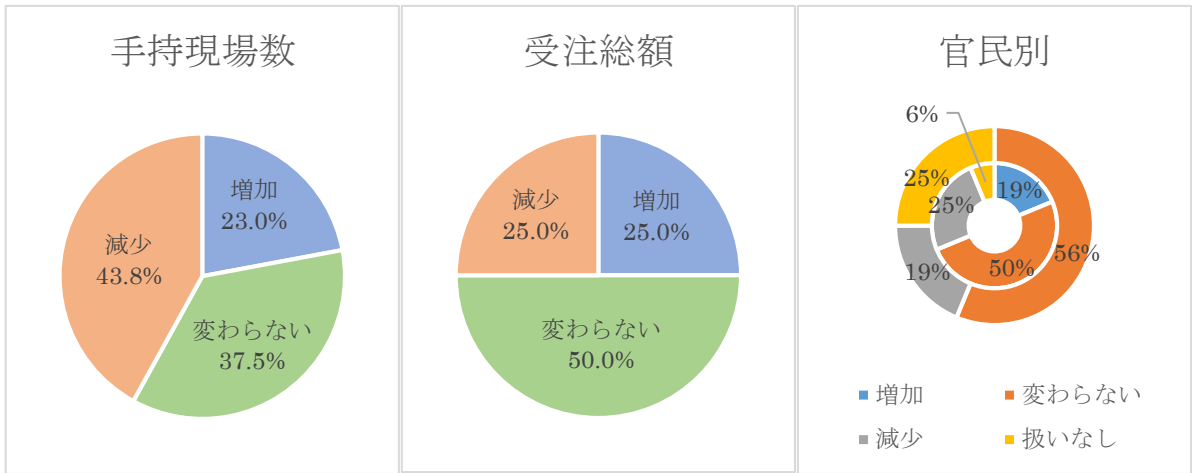
### 卸・小売業



### 建設業

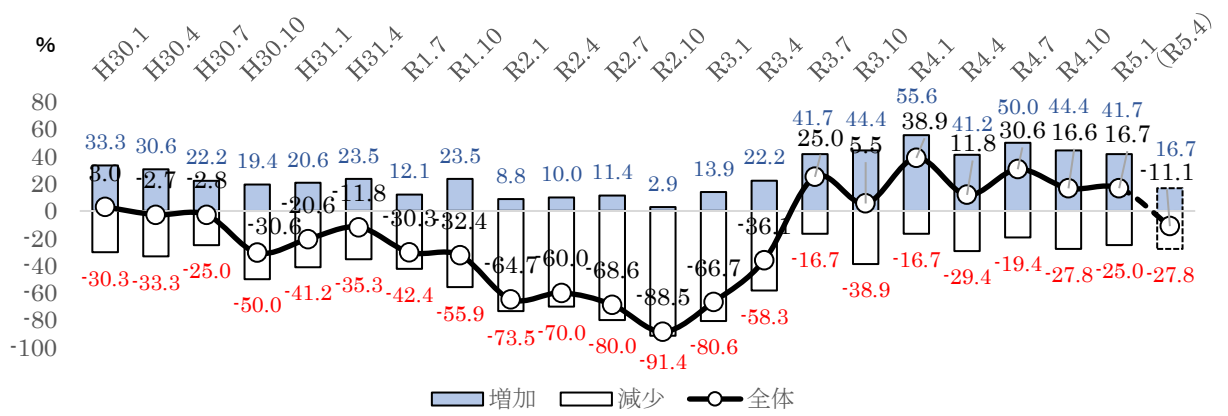


(建設業)

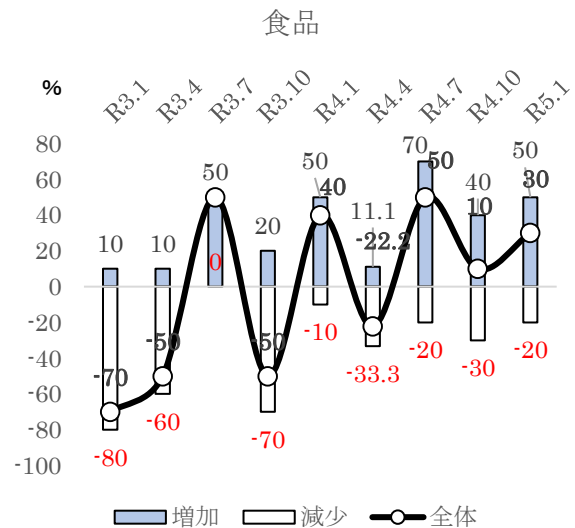
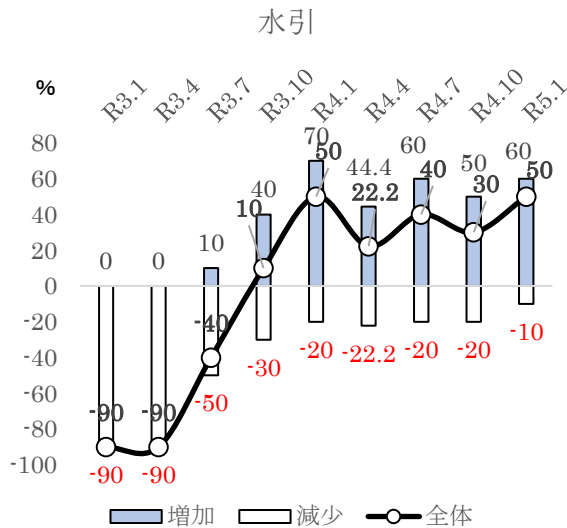


製造業

予想

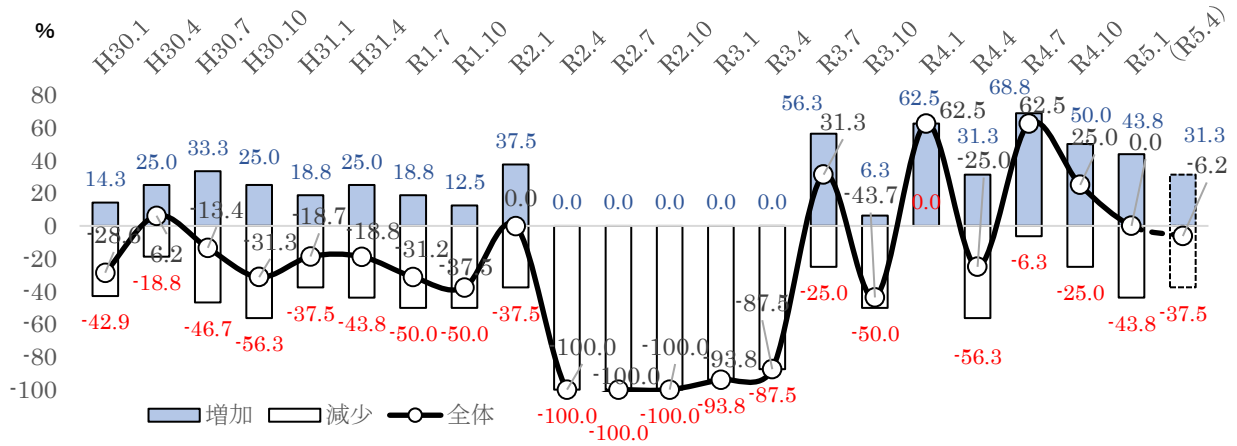


(伝統産業)



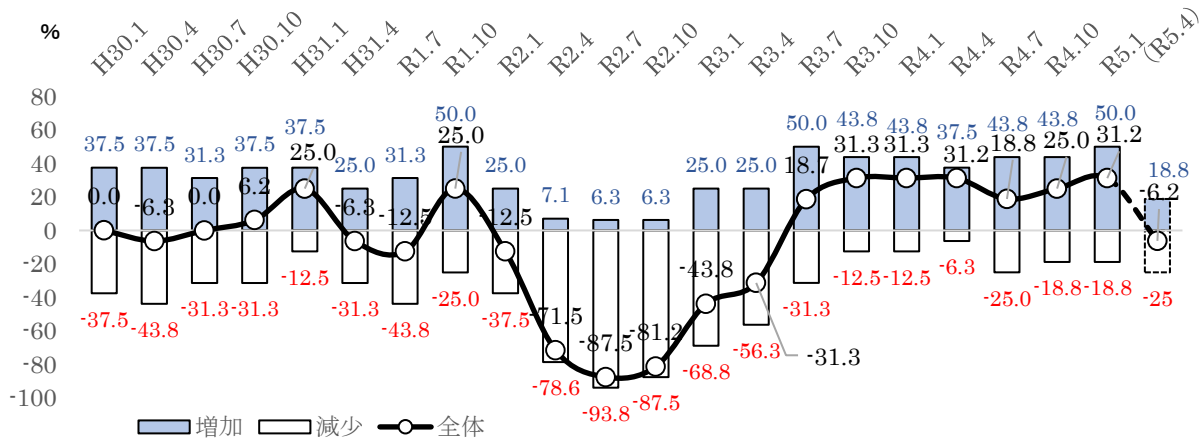
### 宿泊・飲食業

予想



### サービス業

予想



### 3 コストの状況 —前年同期と比べて—(全業種)

原材料およびその他経費については、引き続き上昇回答が 90%近くと高水準となっており影響の長期化が見られます。

人件費、下請け単価についてはそれほど大きな動きはありませんが、上昇回答が増えており、今後の動向が気になるところです。

#### 【主なコメント】

##### ◆原材料

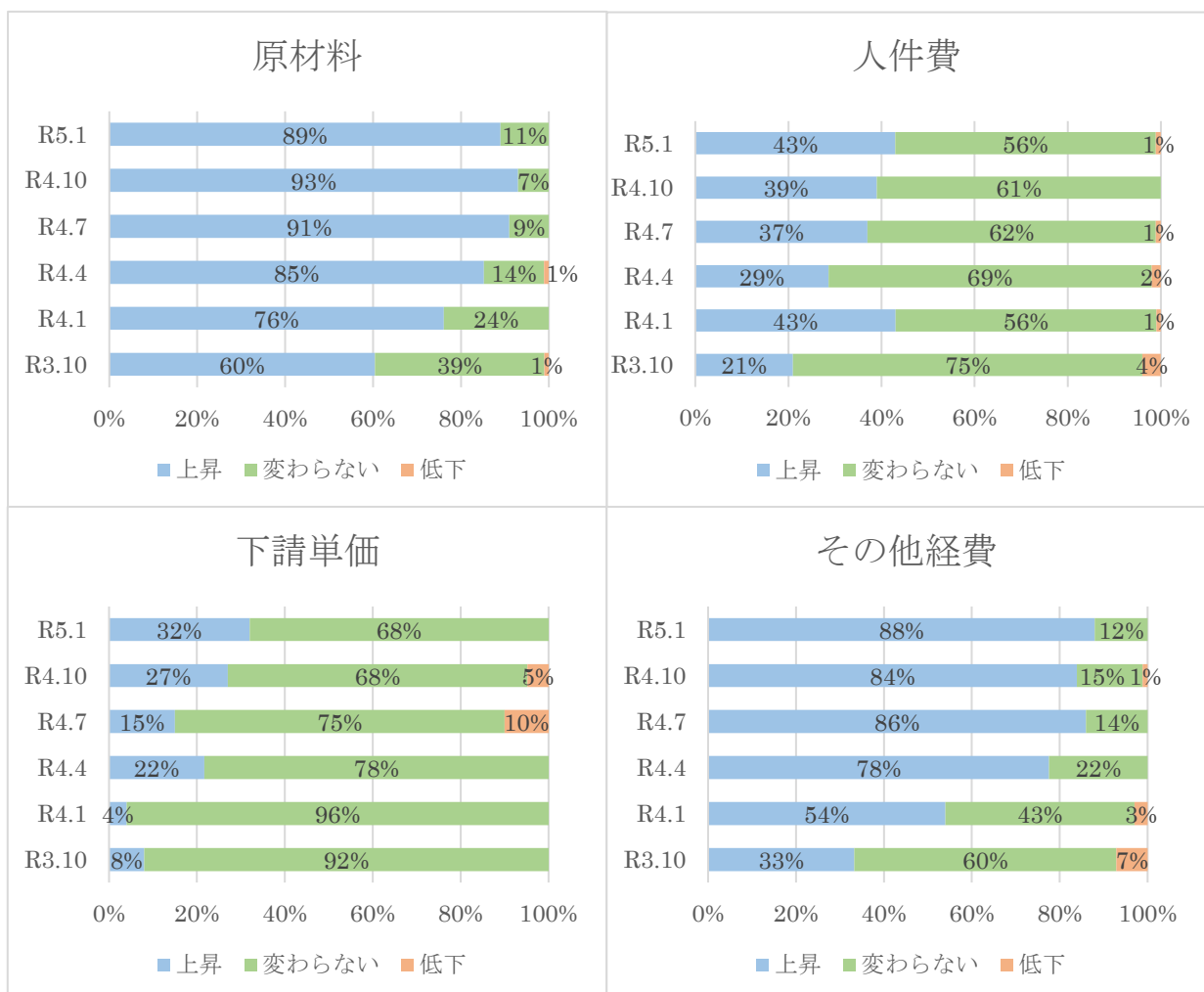
- ・原油高、円安の影響—全業種
- ・メーカーの値上げ—小売
- ・メーカーカタログ 1 年持たず価格改定—建設
- ・部材の上昇が止まらない状況—製造
- ・仕入値の高騰—宿泊・飲食
- ・10～15%さらに上昇—サービス

##### ◆人件費

- ・最低賃金の上昇、手当支給・増額—全業種

##### ◆その他経費

- ・電気料金の度重なる値上げ（2 倍に増加）—全業種

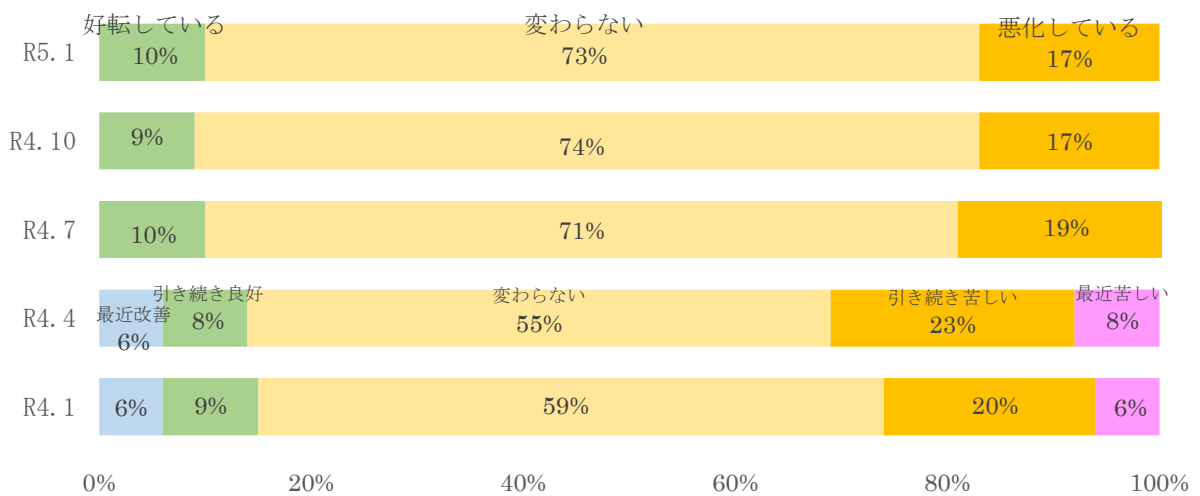


#### 4 資金繰りの状況 —前年同期と比べて—(全業種)

資金繰りの状況については、前回とほぼ同様という結果となりましたが、据置期間の終了によりコロナ資金の借入返済が始まるところもあり、コスト増加による採算悪化等の中で、今後どう影響していくか気になるところです。

##### 【主なコメント】

- ・これから悪化する可能性はあるものの、今のところは変わらない。コロナで借りていたお金が3年経過し、金利がかかるようになるため、返済していかなければならない。
- ・補助金のおかげで回している
- ・コロナで貸してもらったお金をそろそろ返金しないといけない時期になった。ただ、新たな制度資金を利用しなくても、今のところはやっている





## 5 経営上の課題

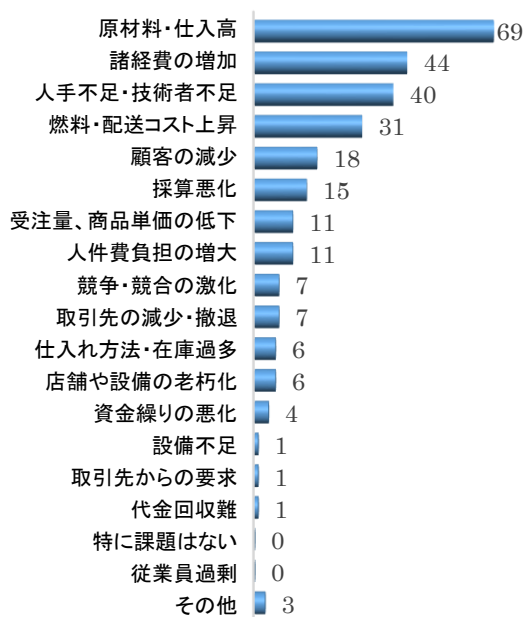
前回調査時と上位の5項目は変わらずとなりましたが、次いで採算悪化が上がってきており、各種コスト増加による影響が拡大してきている状況が窺えます。こういった中で今後、コスト増加分の価格転嫁や人材確保のための賃金アップによる人件費負担の増大への対応をどう進めて行くかも課題となりそうです。

### 【主なコメント】

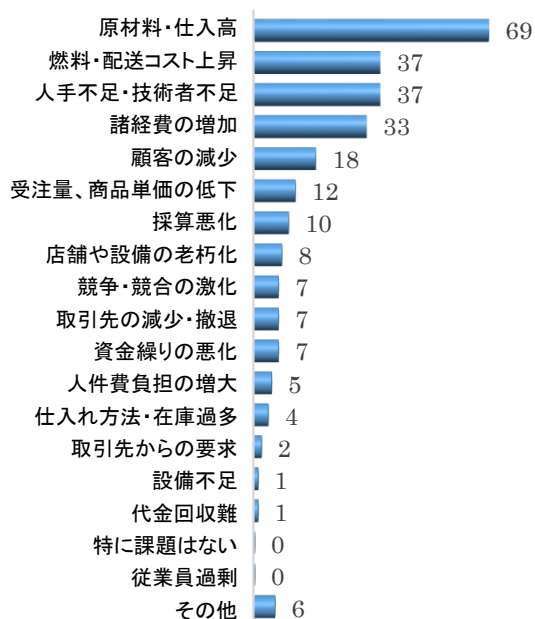
- ・売上アップに経費の増加が追い付かない
- ・技術者がいない
- ・各種コスト高による採算悪化

※3つまでの複数回答

### 【 R5.1 】



### 【 R4.10 】

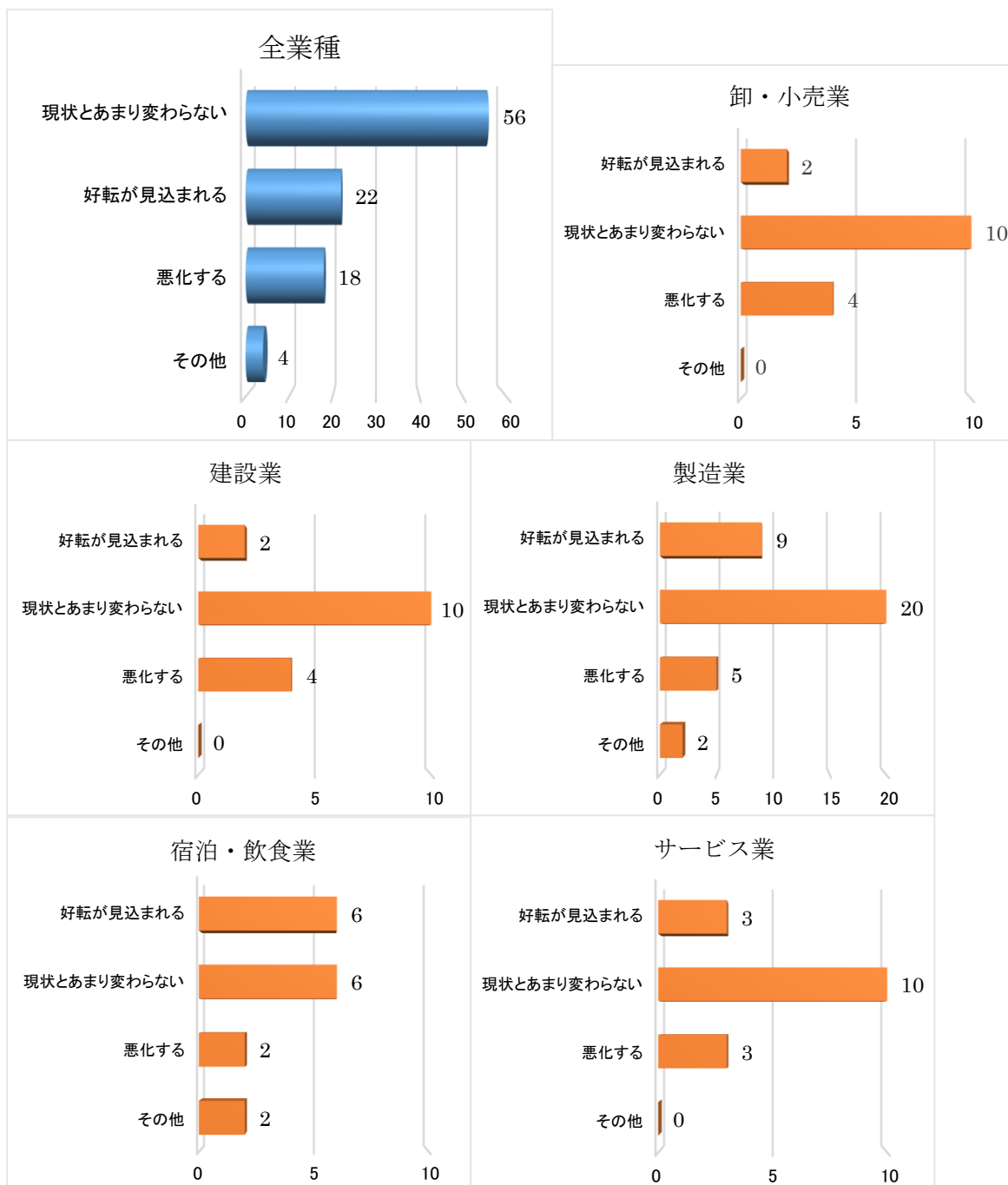


## 6 2023年の見通し等について

### (1)2023年の見通し(自社について、1つだけ選択)

現状ではまだまだコロナ禍や各種コスト等の高騰の影響が続きそうであり、変わらず厳しいという見方が窺え、「現状とあまり変わらない」という回答が最多となりました。

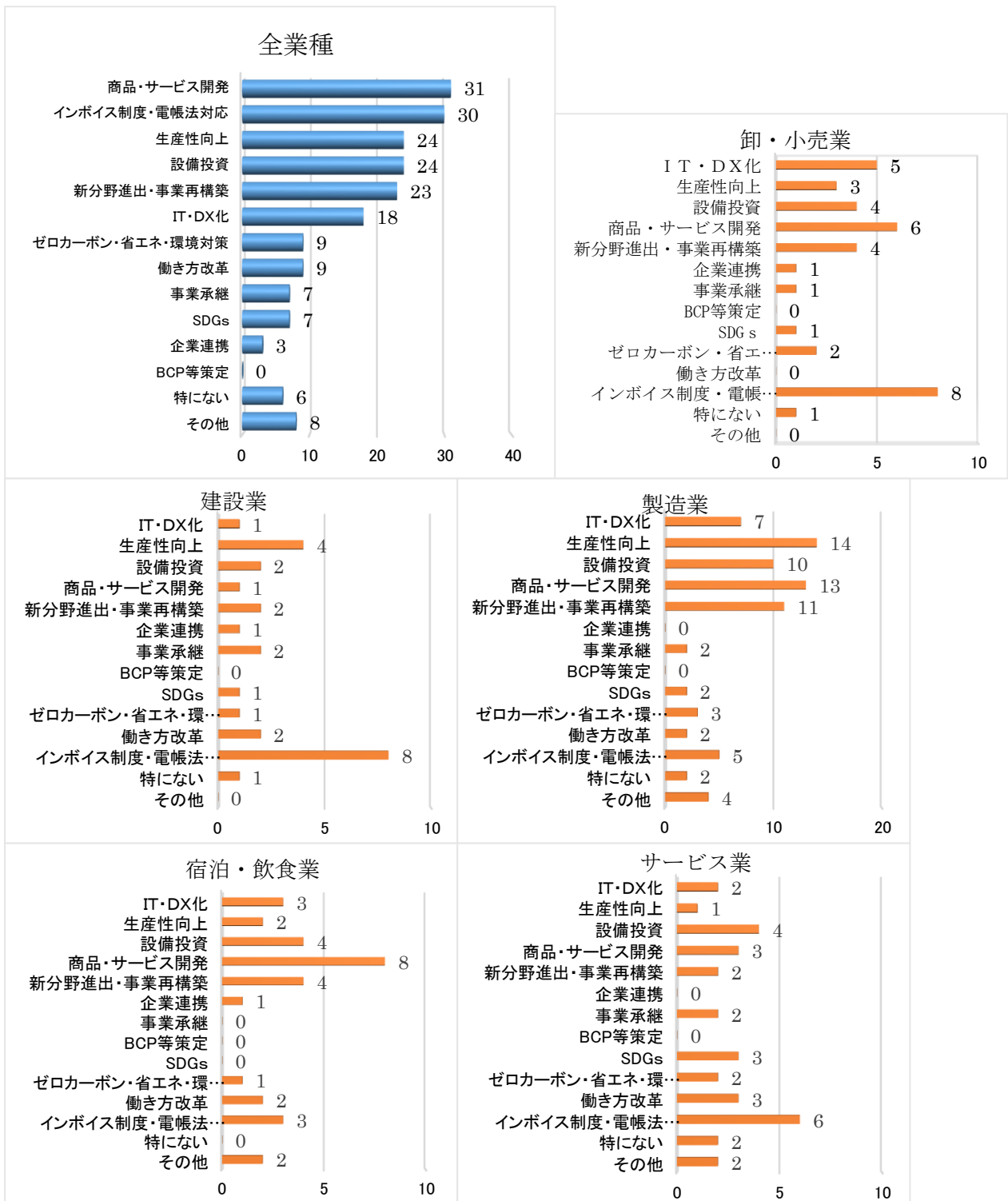
【選択肢】 ①好転が見込まれる ②現状とあまり変わらない ③悪化する ④その他



## (2) 貴社が 2023 年新たに取り組みたい事項は何ですか？

現状、売上や受注がまだまだ回復していない中で、新規顧客獲得・販路開拓のための商品・サービス開発や設備投資も含めた生産性向上により売上・利益の確保等に取り組むといった考えが多いということ。そして、直近の課題として 10 月よりスタートするインボイス制度への対応を進めていかなくてはならない状況が窺えました。

- 【選択肢】 ①IT・DX化 ②生産性向上 ③設備投資 ④商品・サービス開発 ⑤新分野進出・事業再構築  
 ⑥企業連携 ⑦事業承継 ⑧BCP等策定 ⑨SDGs ⑩ゼロカーボン・省エネ・環境対策  
 ⑪働き方改革 ⑫インボイス制度・電帳法対応 ⑬特にない ⑭その他

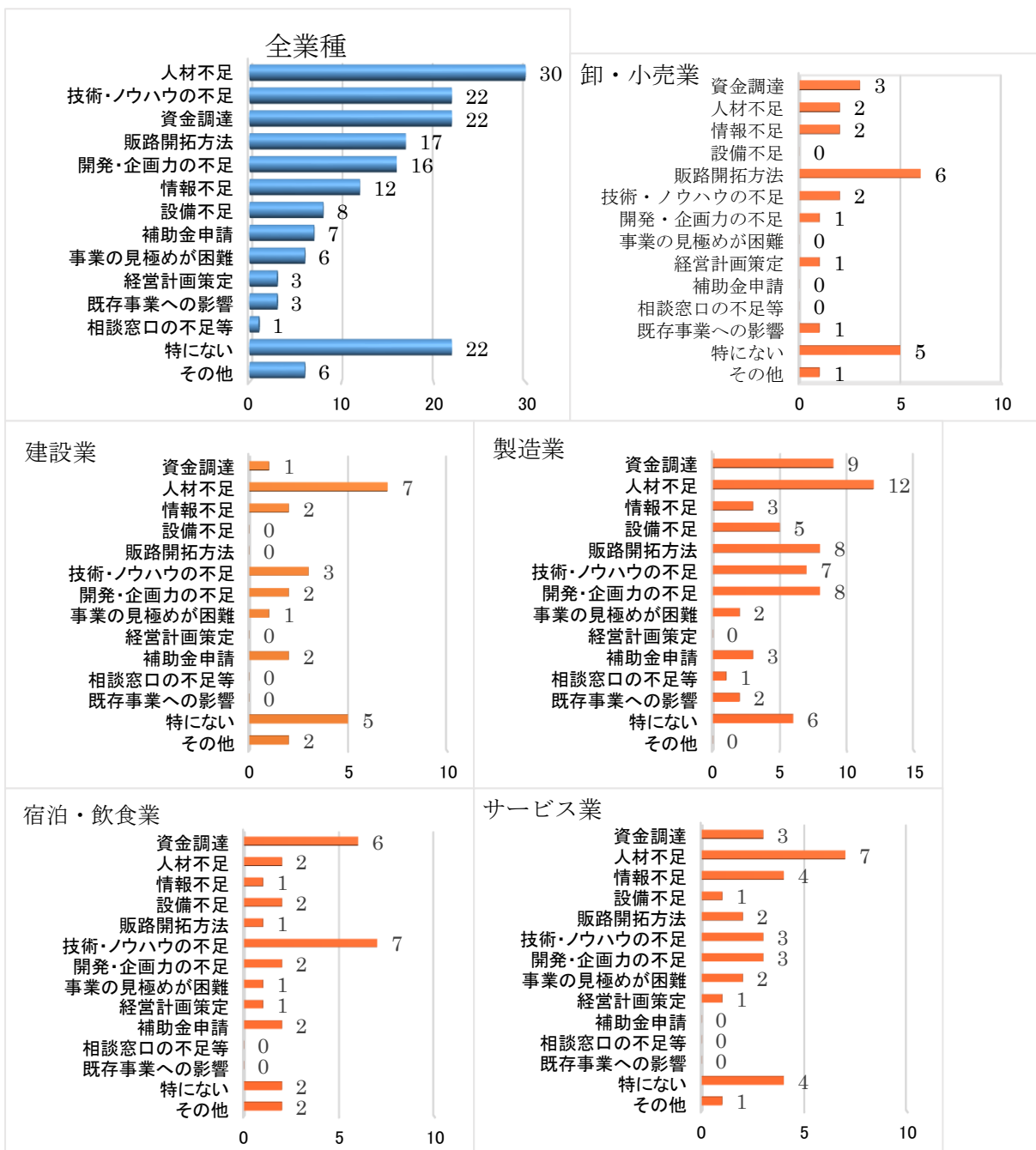


### (3)上記(2)の取り組みにあたって課題や障害は何ですか？

業種別で見ると、建設・製造・サービス業において人材不足の回答が最多、宿泊飲食業では技術・ノウハウの不足が最多、卸・小売業では販路開拓方法が最多となり、業種によりそれぞれ課題が違っている現状が窺えました。

現状の人手不足の中で新規取り組みへ人材を割けないこと、新分野進出にも技術等の不足により簡単には取り組めない、またコスト上昇により採算が悪化する中で資金調達も検討しなくてはならないという状況が窺えました。

- 【選択肢】 ①資金調達 ②人材不足 ③情報不足 ④設備不足 ⑤販路開拓方法 ⑥技術・ノウハウの不足  
 ⑦開発・企画力の不足 ⑧事業の見極めが困難 ⑨経営計画策定 ⑩補助金申請  
 ⑪相談窓口の不足等 ⑫既存事業への影響 ⑬特にない ⑭その他



◆その他 ご意見・ご要望等

- ・「住みたいまち1位」をもっと発信、PRしてほしい
- ・引き続き使えるような助成金の紹介を望む
- ・地場の状況を国にあげて、それに合った施策をしてもらいたい
- ・商談会はとても役立つが、有名な大企業が来てもなかなか取引するのは難しいので、企業として信頼性の高い中規模の企業と商談できる機会があるとありがたい。
- ・本当に厳しい時代。トップが個人補償でやるしかないが、いつまで続くのかわからない。賃金アップの要求が出ているが、人件費が上がっても売上が上がらなければ、会社は持ちません。